

自分の読みを深めるための指導の工夫

～対話型ワークシートを取り入れた交流を通して～

国語班 鈴木 利佳子(小学校教諭)

読みが
深められ
た児童

【研究の成果】

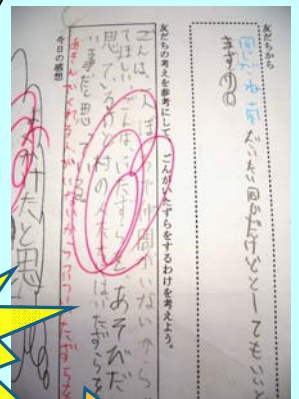
- 友達からのアドバイスやほめてもらったことで自分の読みに自信がもてるようになった。
- 交流を重ねたことで、友達との読みの違いに気付き、よい意見を取り入れて自分の読みに生かせるようになった。

【課題】

- ワークシートの書き込みの自由度を少しずつ広げ、ノートへの移行を考えていく必要がある。

兵十にたくさんつぐないをして兵十と仲良くなりたくて最終的にわかってもらった。やっときづいてくれてありがとう、ごめんなさいいるんなきもちのつまった「うん」だと思う。

全体交流で気付いた考えを付け加えられるから自分でも深まりが分かる



自分の読みを
深める

対話型ワークシート

全体で交流
よりよい考えに気づく

d 友達からの意見を受けて付け加えた考え

友だちの読み
との違いを知る

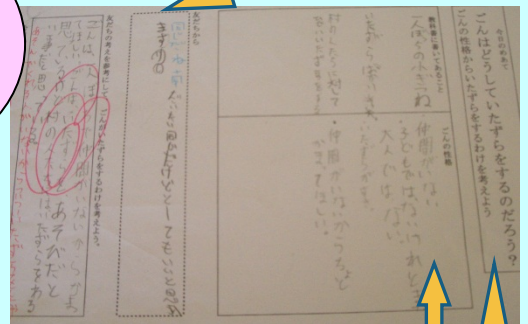
対話型ワークシート

周囲と交流
互いの考えを知る

c 友達からの意見

ごめんなさいの気持ちやありがとうの気持ちもあったのかな

ワークシートに感想や意見をもらえるから友達と比べやすい



自分の読みを
もつ

対話型ワークシート

ごんは自分が栗やまつけを持って行ったことを知ってほしかったんだ

読み取りのポイントと考える順序がはっきりしているから考えを書きやすい

1時間ごとの流れ

<児童の実態>
読み取り方が分からない
自分の考えがもてない

対話型ワークシート

- a 今日のめあて
- b 読み取りのポイント
- c 友だちからの意見
- d 付け加えた考え



b 読み取りのポイント

a 今日のめあて